

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		県の基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			県の指定基準を守って配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	3	一般的な一軒家なので、階段等ありバリアフリーではない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2		職員それぞれにPDCAを回し、定期的にミーティングを行って問題点や改善策を共有・検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3		年に1回実施して業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			月に1回程度研修会に参加し、資質向上につとめている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者面談や普段の行動観察によって得られた情報もとに、支援目標を設定し、支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			職員同士相談しあって決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			公園外出、カードゲーム、おやつづくりなどを組み合わせてプログラムを組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3		休日・長期休暇中は、調理プログラム等を増やし、生活スキル向上支援をおこなっている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎回、その日の支援に必要なことを適宜報告・相談しあい、支援の向上につとめている。

	①⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			翌日午前中に、前日の支援の振り返りをおこなっている。	
	①⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			WEBシステム(HUG)上に都度記録を残している。	
	①⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的に保護者面談等でモニタリングを行っている。	
	①⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっている。	
関係機関や保護者との連携	②⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			担当者会議には、日々支援にあたっている常勤職員が出席している。	
	②⑪	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校からの引き渡し時等に適宜情報共有をおこなっている。また、学校の担任の先生との面談に職員が同席することもある。	
	②⑫	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3		2	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、かかりつけ医等は把握して、連携できる体制を整えている。
	②⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3		2	担当の相談支援専門員の方等を通して、就学前の生活状況、療育に関する記録等把握するようにしている。
	②⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2		3	卒業生本人および保護者が情報共有を希望されるケースがないので、今のところ対応はしていない。
	②⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5				児童家庭支援センター等の専門機関と必要に応じて連携している。
	②⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2		3	公園外出時に地域の子供達と遊ぶ機会がある。
	②⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				5	
	②⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				送迎時のやりとりやサービス提供記録を通して保護者の方とコミュニケーションをとり、共通理解をはかっている。
	②⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2		3	本格的なペアトレは実施していないが、保護者からの相談を受けた際は、在籍している心理士などを交えて対応を検討し、保護者に共有している。
保	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に細やかな説明をおこなっている。	

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			定期的に保護者面談期間を設け、相談に応じている。また、必要に応じて外部の支援機関につなぐ等必要なサポートをおこなっている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	保護者同士の交流・連携に関するサポートは今のところ行っていないが、今後そうした機会も提供していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった場合には、その内容を文書にし、職員全員で共有、その後の対応について協議して対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月のお便り配布で活動予定の報告や、連絡体制の変更など、必要な情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報の管理は十分に注意し、キャビネットの施錠やシュレッダーの使用を徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			その子のコミュニケーションスタイルにあわせて、出来る限り細やかな意思疎通が出来るよう配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2		同法人内通所介護のご利用者様に、敬老の日にプレゼントを贈るなどの交流をしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		各種マニュアルは策定し、職員に周知している。保護者への周知は不十分な面もあるため、今後周知を徹底していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		災害発生時の避難経路・対応等についてはスタッフに周知し、備えている。また、定期的に避難訓練も実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			定例のミーティングで、虐待のチェックをおこない、毎年研修も実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			契約時に説明を行い、了解を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			現在該当するお子さんは在籍していないが、食物アレルギーの有無については保護者に確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット発生時は、翌日の職員会議で共有し、職員に周知徹底、再発予防に徹している。

事業者向け

令和6年度 放課後等デイサービス自己評価結果  
スコヤカKIDS松ヶ丘2号店

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			概ね適正
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4		バリアフリーではないが、段差解消スロープは保管してある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		職員それぞれにPDCAを回し、定期的にミーティングを行って問題点や改善策を共有・検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		年に1回実施して業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	今後実施していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			月に1回程度研修会に参加し、資質向上につとめている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者面談や普段の行動観察によって得られた情報もとに、支援目標を設定し、支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		職員同士相談しあって決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		週ごとにプログラムをを決めて実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		休日・長期休暇中は、調理プログラム等を増やし、生活スキル向上支援をおこなっている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎回、その日の支援に必要なことを適宜報告・相談しあい、支援の向上につとめている。

	①⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			翌日午前中に、前日の支援の振り返りをおこなっている。
	①⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			WEBシステム(HUG)上に都度記録を残している。
	①⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的に保護者面談等でモニタリングを行っている。
	①⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっている。
関係機関や保護者との連携	②⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			担当者会議には、日々支援にあたっている常勤職員が出席している。
	②⑪	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校からの引き渡し時等に適宜情報共有をおこなっている。また、学校の担任の先生との面談に職員が同席することもある。
	②⑫	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	3	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、かかりつけ医等は把握して、連携できる体制を整えている。
	②⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	3	担当の相談支援専門員の方等を通して、就学前の生活状況、療育に関する記録等把握するようにしている。
	②⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			6	施設内に中学生以上の児童の在籍がないので、機会がない。
	②⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			児童家庭支援センター等の専門機関と必要に応じて連携している。
	②⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3	公園外出時に地域の子供達と遊ぶ機会がある。
	②⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			6	
	②⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時のやりとりやサービス提供記録を通して保護者の方とコミュニケーションをとり、共通理解をはかっている。
	②⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	本格的なペアトレは実施していないが、保護者からの相談を受けた際は、在籍している心理士などを交えて対応を検討し、保護者に共有している。
保	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に細やかな説明をおこなっている。

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			定期的に保護者面談期間を設け、相談に応じている。また、必要に応じて外部の支援機関につなぐ等必要なサポートをおこなっている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	保護者同士の交流・連携に関するサポートは今のところ行ってないが、今後そうした機会も提供していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった場合には、その内容を文書にし、職員全員で共有、その後の対応について協議して対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月のお便り配布で活動予定の報告や、連絡体制の変更など、必要な情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報の管理は十分に注意し、キャビネットの施錠やシュレッダーの使用を徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			その子のコミュニケーションスタイルにあわせて、出来る限り細やかな意思疎通が出来るよう配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2		同法人内通所介護のご利用者様に、敬老の日にプレゼントを贈るなどの交流をしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		各種マニュアルは策定し、職員に周知している。保護者への周知は不十分な面もあるため、今後周知を徹底していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		災害発生時の避難経路・対応等についてはスタッフに周知し、備えている。また、定期的に避難訓練も実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定例のミーティングで、虐待のチェックをおこない、毎年研修も実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に説明を行い、了解を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			食物アレルギーの有無は、契約時に保護者へ確認し、それに沿っておやつ提供等対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		ヒヤリハット発生時は、翌日の職員会議で共有し、職員に周知徹底、再発予防に徹している。

事業者向け

令和6年度 放課後等デイサービス自己評価結果  
スコヤカKIDS松ヶ丘3号店

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			十分な広さが確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			エレベーターもあり、バリアフリーである。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2		職員それぞれにPDCAを回し、定期的にミーティングを行って問題点や改善策を共有・検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		年に1回実施して業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	今後実施していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			月に1回程度研修会に参加し、資質向上につとめている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		保護者面談や普段の行動観察によって得られた情報もとに、支援目標を設定し、支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		職員同士相談しあって決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		週ごとにプログラムを決めて実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎回、その日の支援に必要なことを適宜報告・相談しあい、支援の向上につとめている。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			翌日午前中に、前日の支援の振り返りをおこなっている。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			WEBシステム(HUG)上に都度記録を残している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的に保護者面談等でモニタリングを行っている。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっている。
関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			担当者会議には、日々支援にあたっている常勤職員が出席している。
	⑩㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			学校からの引き渡し時等に適宜情報共有をおこなっている。また、学校の担任の先生との面談に職員が同席することもある。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	4	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、かかりつけ医等は把握して、連携できる体制を整えている。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	3	担当の相談支援専門員の方等を通して、就学前の生活状況、療育に関する記録等把握するようにしている。
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			7	施設内に中学生以上の児童の在籍がないので、機会がない。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			児童家庭支援センター等の専門機関と必要に応じて連携している。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	4	公園外出時に地域の子供達と遊ぶ機会がある。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			7	
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時のやりとりやサービス提供記録を通して保護者の方とコミュニケーションをとり、共通理解をはかっている。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	3	本格的なペアトレは実施していないが、保護者からの相談を受けた際は、在籍している心理士などを交えて対応を検討し、保護者に共有している。
保	⑩⑳⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に細やかな説明をおこなっている。

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			定期的に保護者面談期間を設け、相談に応じている。また、必要に応じて外部の支援機関につなぐ等必要なサポートをおこなっている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	保護者同士の交流・連携に関するサポートは今のところ行っていないが、今後そうした機会も提供していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情があった場合には、その内容を文書にし、職員全員で共有、その後の対応について協議して対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月のお便り配布で活動予定の報告や、連絡体制の変更など、必要な情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報の管理は十分に注意し、キャビネットの施錠やシュレッダーの使用を徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			その子のコミュニケーションスタイルにあわせて、出来る限り細やかな意思疎通が出来るよう配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		同法人内通所介護のご利用者様に、敬老の日にプレゼントを贈るなどの交流をしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		各種マニュアルは策定し、職員に周知している。保護者への周知は不十分な面もあるため、今後周知を徹底していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			災害発生時の避難経路・対応等についてはスタッフに周知し、備えている。また、定期的に避難訓練も実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			定例のミーティングで、虐待のチェックをおこない、毎年研修も実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			契約時に説明を行い、了解を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			食物アレルギーの有無は、契約時に保護者へ確認し、それに沿っておやつ提供等対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		ヒヤリハット発生時は、翌日の職員会議で共有し、職員に周知徹底、再発予防に徹している。